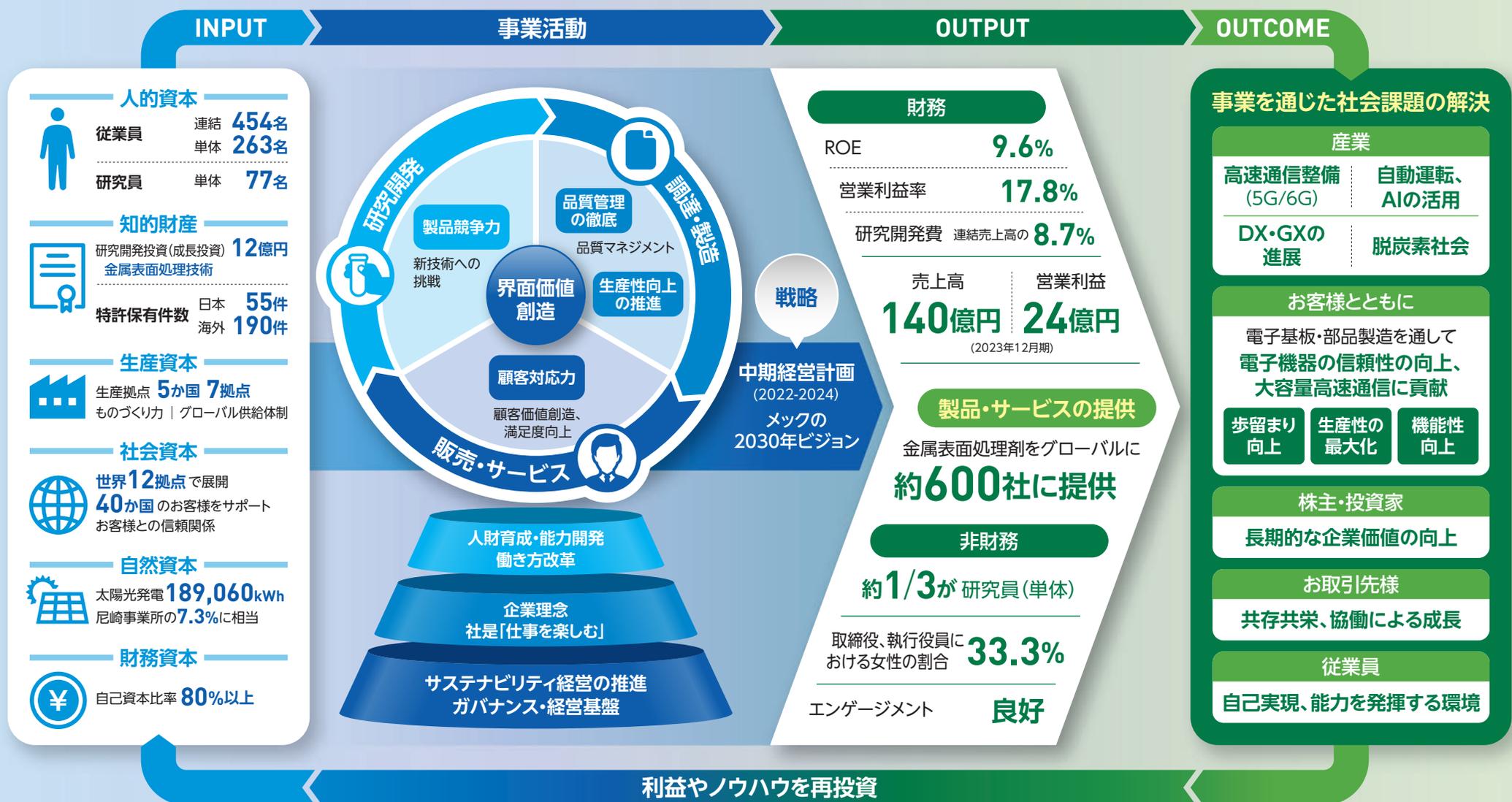


メックの価値創造モデル

メックの価値創造の中心には「独創の技術」「信頼の品質」そして「万全のサービス」の3つの信条があります。研究開発型企業としての独創の技術力、高品質な製品を安定的に供給する調達・生産力、販売・サービスにおける信頼を積み重ねてきた顧客対応力がしっかりと組み合わせ、事業全体に強い推進力を生みだしています。

私たちの強みは電子基板製造用の薬品を開発・製造・販売すること。金属と樹脂との「界面価値創造技術」でデジタル社会の発展に寄与してきました。これからも、人財力、技術力、対応力を軸にさまざまな社会課題の解決に真摯に向き合い、経営基盤の強化を図ります。同時にガバナンスを働かせて持続的成長を図るとともに、豊かで潤いのある社会の実現に貢献していきます。



メックの経営資本について

当社の経営資本は事業に投入され、「独創の技術」でお客様の課題を解決し、お客様と当社が共創価値を生み出します。そして、そこで生み出された価値は資本に還流し、さらなる価値創造につながっていきます。

		各種資本の重要性	2023年度の状況	強化策	掲載ページ
内部資本	人財・人的資本	当社グループの持続可能な発展を支える最も重要な資本であり、価値創造の原動力です。個の「自立と自走」する力を高め、連帯を体現できるよう人財戦略を通して、人財育成と活躍をサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ連結従業員数 454人 ● 単体従業員数 263人 ● 従業員男女比率 71:29 ● 管理職男女比率 70:30 ● 新規採用者男女比率 68:32 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立と自走 ● 人財戦略 ● 女性活躍推進 ● 男女の区別ない制度の実施・取得推進 ● エンゲージメント 	<ul style="list-style-type: none"> → P.02、07、11、20～24
	知的財産 ビジネスノウハウ	事業活動を通して様々なビジネスノウハウを蓄積しています。高い競争力をもって当社成長のために欠かせない研究開発に対し適時適正な投資を行っています。顧客のニーズやシーズに応じた課題を解決します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 特許保有 日本 55件 海外 190件 ● 研究開発投資 12億円 ● 金属表面処理技術 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存事業領域の強化と新事業開拓 ● 環境負荷低減製品の開発・上市 ● ステークホルダーからの信頼 	<ul style="list-style-type: none"> → P.02、07、10
	生産資本	ものづくり力を強化し、グローバル生産体制を確立して、世界中の顧客に良質な製品をお届けします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産拠点 5か国 7拠点 ● 品質管理技術とシステム ● 総生産量(日本国内) 15,810t 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各拠点において生産・供給能力を向上 ● 新工場を含めた新BCPを構築中 	<ul style="list-style-type: none"> → P.07、10、17
	財務資本・基盤	適切な資本配分と収益力の強化により、安定した財務基盤を維持し、事業活動を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 総資産 286億円 ● 株主資本 247億円 ● ROE 9.6% ● 営業キャッシュフロー 19億円 ● 自己資本比率 86.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切なリスクマネジメント ● 適時情報開示 ● ステークホルダーや資本市場と対話を通じて培ってきた信用 	<ul style="list-style-type: none"> P.02、04、07、10、11、26、29
外部資本	社会資本・ネットワーク	世界中で多くの顧客や取引先との信頼関係を築いてきました。顧客や取引先と協働することで、Win-Winの関係性を構築し、課題の解決とともに価値を創り上げます。	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルに広がる多数の顧客・取引先 ● サプライヤーとの信頼関係 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの強化 ● 優良パートナーとの信頼関係の構築 ● 持続可能なサプライチェーンの構築 	<ul style="list-style-type: none"> → P.07、10、26、27
	自然資本	環境・自然への配慮も事業継続には欠かせません。エネルギーや資源を無駄にすることなく有効に活用し、環境への負荷低減に努めます。	<p>兵庫県尼崎市、新潟県長岡市で森活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気使用量 3,681,421kWh ● 水使用量 33,804m³ ● 太陽光発電 189,060kWh 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動対応への取り組み ● 再生可能エネルギーへの移行検討 	<ul style="list-style-type: none"> → P.07、10、12～18、27